

**農業大学校は、食味・収量がその場でわかる  
スマートコンバインの実演を行います。**

農業大学校は、スマート農業を授業に組み入れ、ICT技術などを活用した最先端の農業機械や制御システムにより、省力化と高収益農業の実現を目指した学習を進めています。

今回は、ドローンを活用した生育診断による穂肥施用の結果を検証するため、メッシュマップ機能付きの食味・収量コンバインを用いた授業を行います。

1 日 時

令和元年 9月30日（月）午後 1時10分～

2 会 場

新潟県農業大学校 C1ほ場

3 内 容

- (1) 食味・収量コンバインの能力把握
- (2) メッシュマップ機能及び各種操作方法の実習

4 その他

来校時は、本館で受付をお願いします。

雨天の場合は中止します。

なお、午後に雨天が予想される場合は午前中に実演を行いますので、実施の有無等については下記担当にお問い合わせください。

～メッシュマップ機能付き  
食味・収量コンバインとは～

これまでの食味・収量コンバインは、1つのほ場全体を平均して米の食味と収量を計測していましたが、今回の実演機は、1つのほ場を細分化し、5m間隔では場内のバラツキを計測できるコンバインです。

本件についてのお問い合わせ先

農業大学校 （直通）0256-77-8063

〔担当〕 稲作経営科長 鈴木 信

